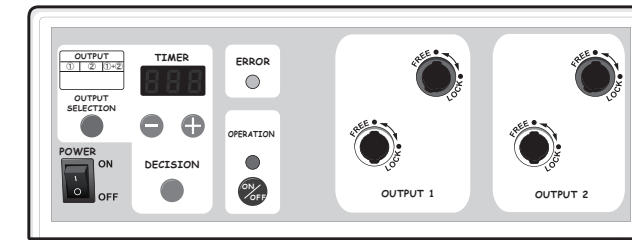


電子供給器 HD21 (エイチディー21)

取扱説明書



目次

はじめに

- 1. 正しくご使用いただくために…………… 2
- 2. 構成…………… 6
- 3. 本体各部の名称と機能…………… 7

ご使用前に

- 1. 導子極板と対極板の接続…………… 8
- 2. スパイラルチューブの巻き方…………… 9
- 3. カバーの取付け方…………… 9
- 4. ベルトの使い方…………… 9
- 5. 電源コードおよびACアダプターの接続…………… 10
- 6. 使用方法…………… 11

導子極板と対極板のあて方例

- あて方例 (BD仕様)…………… 12
- あて方例 (YD仕様)…………… 14

使いかた

- 操作方法…………… 16

エネルギーチェック (ENERGY CHECK)

- 1. 用途…………… 21
- 2. エネルギーチェックの使用方法…………… 21
- 3. 次の点に注意してください…………… 22

トラブル対処方法

23

仕様

24

その他

- 保管方法…………… 24
- 廃棄または譲渡について…………… 24
- 消耗品の交換について…………… 25
- 清掃・点検リスト…………… 25

保証書について

保証書 (3 枚目) はお客様の控えです。取扱説明書と同様に大切に保管してください。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入頂いた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書と同じ内容を下記に記入しておく点検、修理、消耗品の注文などを依頼されるときに便利です。

製造番号	お買い求め日	お買い求めの販売店
	年 月 日	TEL () -

お客様ご相談窓口

製品についてのご相談や修理はお買い求めの販売店へお申し付けください。
または、商品名、製造番号をご確認の上、下記窓口へご連絡ください。

お問い合わせ内容	連絡先
商品情報やお取り扱いについて	TEL: 0877-45-5333 (代) FAX: 0877-45-1881
修理などアフターサービスについて	TEL: 0877-45-3200 FAX: 0877-45-3600

● 受付時間：午前9:00～午後6:00 月曜～金曜まで (土日祝日及び弊社休日指定日を除く)

製造元
レルテック医療器株式会社

〒762-0025 香川県坂出市川津町3795番地1
TEL (0877) 45-5333(代) FAX (0877) 45-1881
<http://www.reltec.co.jp>

ご使用前に必ずお読みください

このたびは HD21 をご購入頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。


1. 正しくご使用いただくために


必ずお守りください。

このたびは、電子供給器HD21をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
 電子供給器HD21は健康関連機器であり、医療機器ではありません。
 本機器の使用目的は、一般的な健康目的や健康的な生活を維持するためであり、医療目的
 (病気の発見、診断、監視、病状や病気に関する治療等)のためではありません。
 医学的なアドバイスが必要な場合は、医師にご相談ください。
 尚、日本国内仕様のため、安全上及び法律により、海外ではご使用出来ません。










ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用ください。

下記の表示が付いている文書は、この表示を無視して誤った取扱をすると、ご使用者や他の人への
 危害及び物的損害が想定される内容を説明しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱をすると「人が死亡または重傷を負う可能性が
 想定される」内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱をすると「人が傷害を負う可能性または物的損害が
 想定される」内容を示しています。


表示マーク説明

	禁止	してはいけない「禁止事項」
	強制	必ずしなければならない「指示事項」
	分解禁止	 取扱説明書参照
	火気禁止	 高電圧注意
	水場での使用禁止	 交流
	電源プラグをコンセントから抜く	


警告


- 次のような医用電気機器との併用は、影響を与える可能性があるため、使用しないでください。
 - ペースメーカーや植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器
 - 心電計などの装着形の医用電気機器
- 心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人は使用しないでください。


注意


-  次の人は、ご使用前に必ず医師に相談してください。
 - 悪性腫瘍のある人
 - 心臓疾患のある人(心臓に障害のある人)
 - 妊娠している人 妊娠初期の不安定期又は出産直後の人
 - 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
 - 体温38℃以上(有熱期)の人
(急性炎症症状[倦怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期にある人。衰弱している人)
 - 安静を必要とする人
 - 脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど急性(痛風性)疾患の人

子供に使用する場合、必ず保護者の監督下で使用してください。
 また、機器本体、導子極板および対極板の上で子供を遊ばせたり、上に乗ったりさせないでください。

-  たばこなどの火気を近づけないでください。
 本体や付属品を暖房器具に近づけないでください。
 火災や故障のおそれがあります。

-  本体の内部は、高電圧が発生しています。絶対にケースをあげないでください。
 本体及び付属品の分解・修理・改造をしないでください。

-  風呂場など、水分や湿気の多い場所では使用しないでください。
 感電などのけがや故障のおそれがあります。
 本体及び付属品(エナジーチェック、導子極板や対極板)を水につけて洗わないでください。

-  異常な臭い、異常な音、煙が発生する等機器の異常に気付いたときは電源スイッチを切り、電源コードの
 プラグをコンセントから抜いて使用しないでください。
 製品を落としたり、倒したり、強い衝撃が与えられたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源コードの
 プラグをコンセントから抜いて使用しないでください。
 液体が内部に入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて
 使用しないでください。

※ 上記の場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

雷が発生しているときは、使用を中止し、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- ❌ 機器の上に物を置かないでください。
他の電気製品の近くに置かないでください。
金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。
導子極板および対極板プラグの本体差込口のソケットに金属棒などを挿入しないでください。
導子極板および対極板のケーブル、電源コード、ACアダプターに無理な力が加わらないようにしてください。
極端に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、小さく束ねたり、重いものを乗せたりすると、寿命を縮め、火災、感電、事故などの原因となります。また、導子極板および対極板のプラグ部分に衝撃を与えると、プラグの破損の原因となりますのでご注意ください。
弊社が提供する付属品（電源コード、ACアダプター、導子極板、対極板）以外は使用しないでください。
本体および付属品を他の用途に使用しないでください。
濡れた手で製品を扱わないでください。
感電などのけがや故障のおそれがあります。

ご使用前の注意

⚠ 注意

- ❗ はじめて使用される方は必ず取扱説明書を読んでからご使用ください。
電源コード、ACアダプター、導子極板、対極板は正しく確実に接続してください。
スイッチやボタン、タイマーが正常に作動していることを確認してください。
しばらく使用しなかった機器を使用するときは、機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。
導子極板と対極板を接続し、スイッチやボタン、タイマーが正常に作動していることを確認してください。
必ず導子極板と対極板を正しく装着してから運転を開始してください。
運転を開始してから導子極板と対極板を装着すると、不快な電氣的刺激を感じる場合があります。
また、運転中に導子極板と対極板を外す場合は、運転を停止させてから行ってください。
手が濡れているときや、塗り薬等が塗られているときは、必ず拭き取ってからご使用ください。
導子極板および対極板が濡れているときには、十分に乾燥させてからご使用ください。
ただし、ドライヤーを使用したり、ストーブにあてるなど、高温での乾燥は絶対にしないでください。
導子極板および対極板を傷める原因になります。
導子極板および対極板が少しでも傷んでいるときは、使用しないで新しいものに交換してください。
ご自身で修理をしたりそのまま使用すると危険ですので、必ずお買い求めの販売店もしくは弊社までご相談ください。

⚠ 注意

- ❌ 他の電気製品と同時に使用しないでください。
以下のような場所での設置や使用はしないでください。
 - 振動の多い場所や傾斜、衝撃のある不安定な場所
 - 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど温度が高くなる場所
 - ほこり、塩分、硫黄等による悪影響のある場所本体や付属品のそばに花瓶や水槽など、液体の入った容器を置かないでください。
液体が内部に入ると火災や故障のおそれがあります。
導子極板および対極板を装着する際は、過度の締め付け等により曲げすぎないようにしてください。
曲げすぎると破損の原因になります。

ご使用中の注意

⚠ 注意

- ❗ 使用中に身体に異常を感じたときには直ちに使用を中止してください。
周囲の人は、使用中の人に触れないでください。また、使用中の人は周囲の人や物に触れないでください。
停電のときは、直ちに電源スイッチを切ってください。
使用中に他の部位または別のの人に使用するときは、必ず運転を停止してから行ってください。
- ❌ 使用中は身体および導子極板と対極板に金属（ベッド、椅子、貴金属等）を接触させないでください。
1回あたり60分を超えて使用しないでください。
続けて使用せず、使用後は1時間以上あけてください。

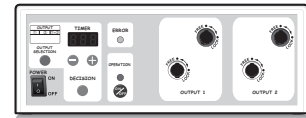
ご使用後の注意

⚠ 注意

- ❗ ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。
本体を移動するときは、必ず電源コード、ACアダプター、導子極板および対極板を外し両手でしっかり持ってください。
本体を誤って落としたときは、必ず販売店に連絡し、点検を受けてください。
外観上異常がなく正常に作動したとしても、後で故障や事故につながるおそれがあります。

2. 構成

※下記の内容をご確認いただき、チェック をお付けください。



本体 (1台)



取扱説明書 (1部)



保証書 (1部)

付属品 (保証対象外)

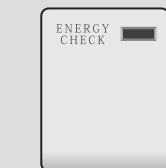
※1 フェライトコアは絶対に外さないでください。



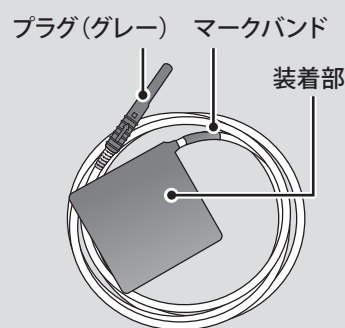
電源コード (1本)



ACアダプター (1本)



エナジーチェック (1個)



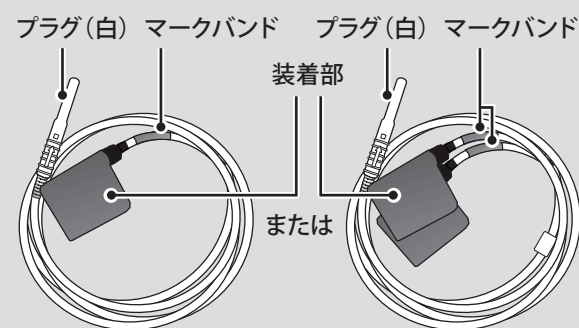
導子極板AC (2本)
マークバンド: 赤色、青色



接地アダプター (1個)



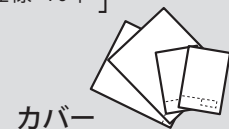
ベルト
大……………1本 (長さ: 120cm)
中……………1本 (長さ: 80cm)
特小W (長さ: 30cm)
対極板BD仕様…2本
対極板YD仕様…4本



対極板BDまたはYD (2本)
マークバンド: 赤色、青色



スパイラルチューブ
4m仕様: 16本
2.5m仕様: 10本



カバー
カバー小 (導子極板AC用): 4枚
カバー特小 (対極板BD用): 4枚
対極板YD用): 8枚

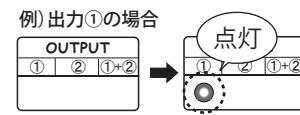
3. 本体各部の名称と機能

タイマー表示部 (TIMER)

設定した運転時間が表示されます。
また、終了音量および操作音量の設定時のみ音量が表示されます。
(16ページ参照)
エラー時のエラーコードもここに表示されます。(20ページ参照)

出力表示ランプ (OUTPUT)

出力選択ボタンで選択した出力箇所が点灯します。



出力選択ボタン (OUTPUT SELECTION)

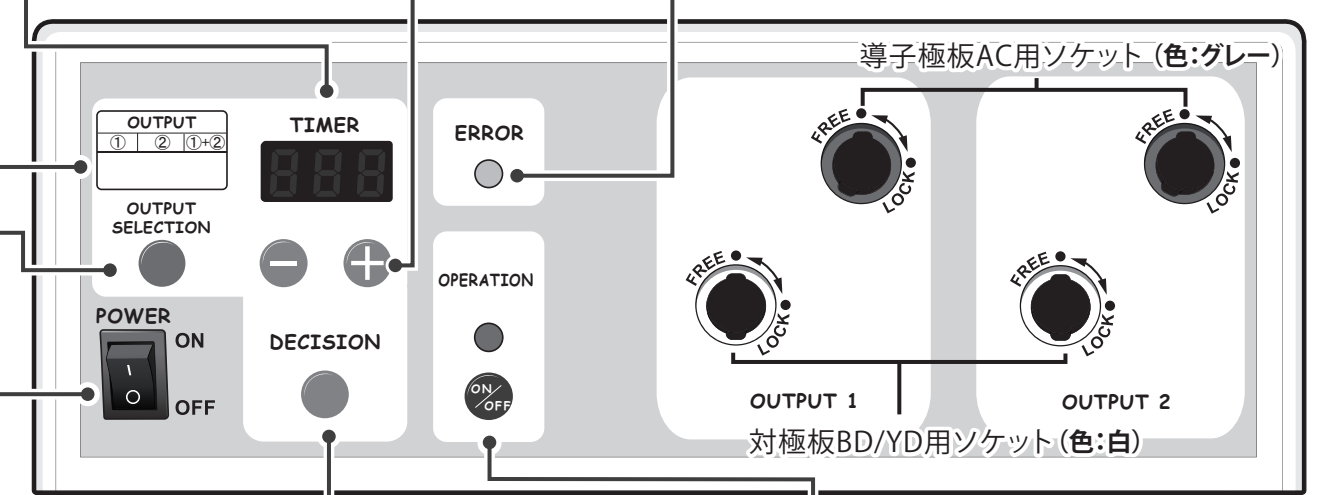
出力箇所を選択します。



主電源スイッチ (POWER)

印が「切」OFF 印が「入」ON

[正面]



「+」「-」ボタン

ボタンを押すことで運転時間の設定、終了音量および操作音量の設定ができます。
(16~17ページ参照)

エラー (ERROR) 点滅:ピンク色

導子極板または対極板のプラグが正しく差し込まれていないときに、ピンク色のLEDランプが点滅し、エラー音が鳴ります。

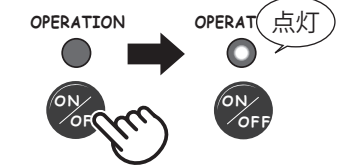


決定ボタン (DECISION)

「+」「-」ボタンで設定した運転時間、出力選択ボタンで選択した出力箇所、終了音量および操作音量を記憶させることができます。
(16~17ページ参照)

運転ボタン (OPERATION)

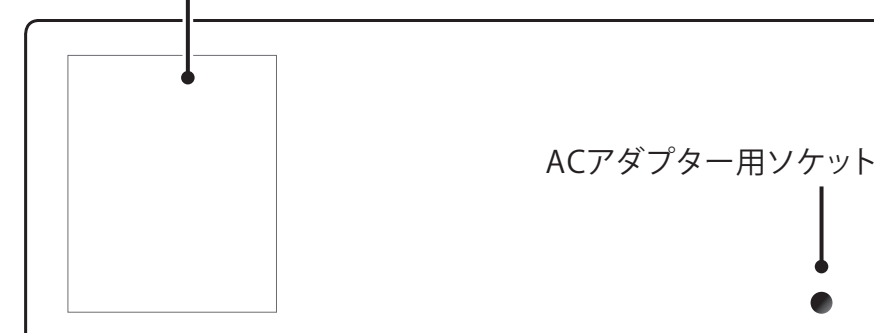
運転の「ON/OFF」ができます。
運転中はLEDランプが点灯します。



定格ラベル

製造番号等が記載されています。

[背面]

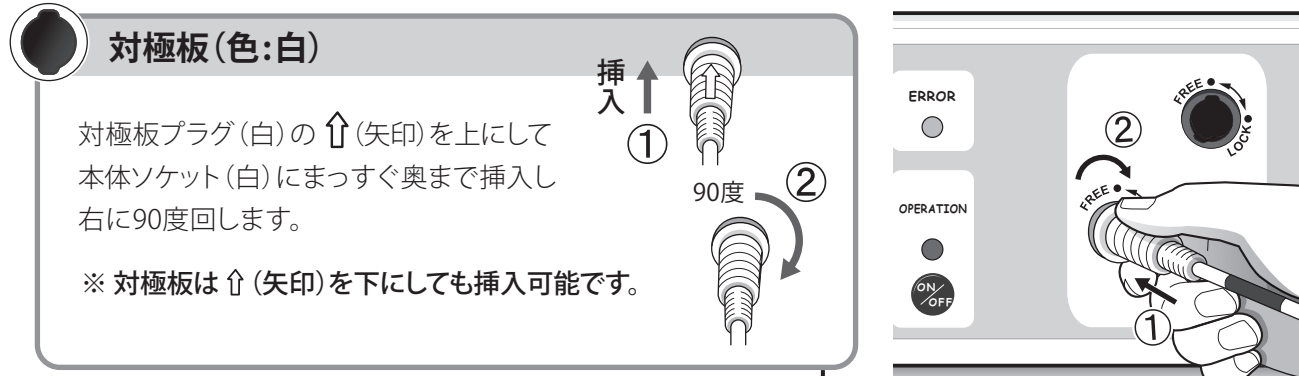


ACアダプター用ソケット

■ 1. 導子極板、対極板の接続

機器本体が動かないように本体を押さえながら出力1側(OUTPUT 1)、出力2側(OUTPUT 2)それぞれに導子極板と対極板を本体ソケット側に接続してください。

例) 出力1 (OUTPUT 1) の場合

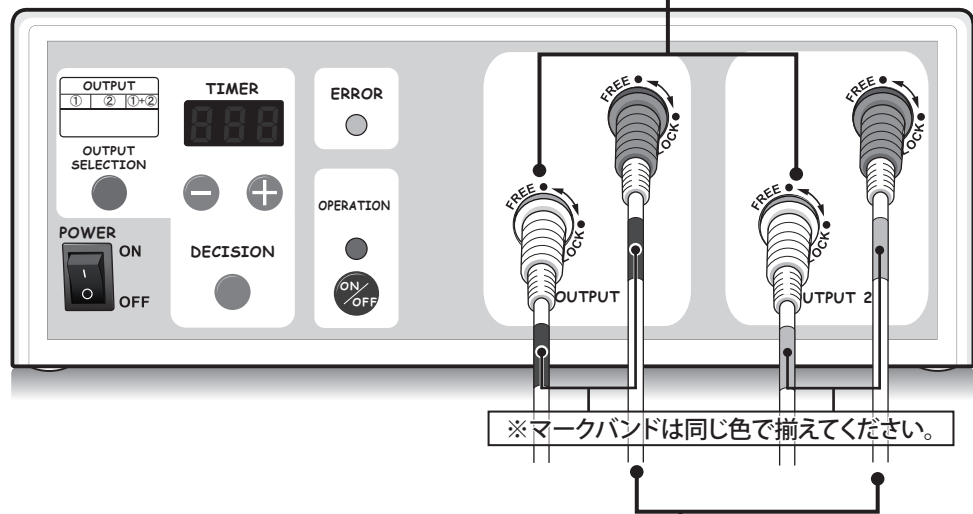


対極板(色:白)

対極板プラグ(白)の↑(矢印)を上にして本体ソケット(白)にまっすぐ奥まで挿入し右に90度回します。

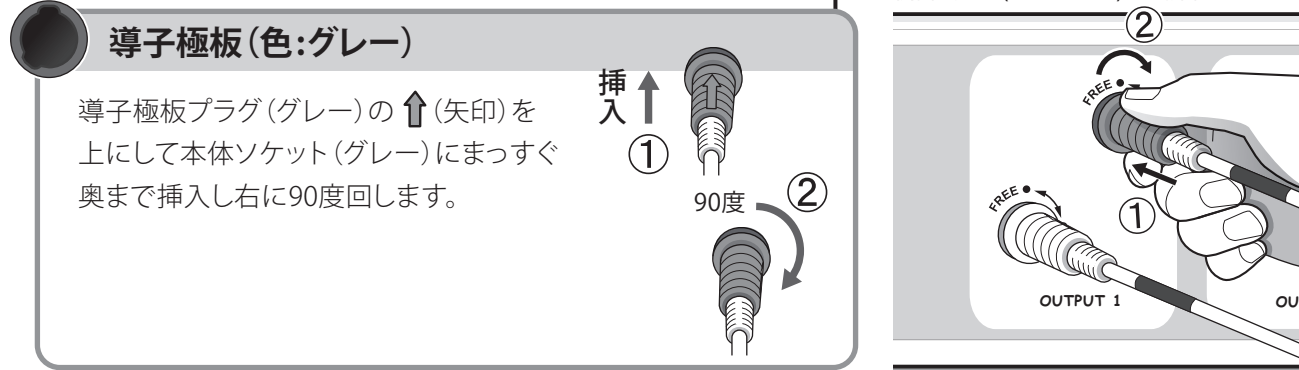
※ 対極板は↑(矢印)を下にしても挿入可能です。

[差し込んだ状態の図]



※マークバンドは同じ色で揃えてください。

例) 出力1 (OUTPUT 1) の場合



導子極板(色:グレー)

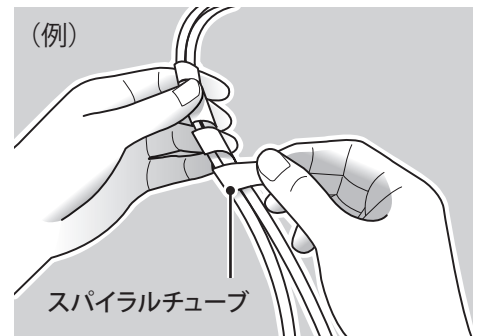
導子極板プラグ(グレー)の↑(矢印)を上にして本体ソケット(グレー)にまっすぐ奥まで挿入し右に90度回します。

⚠ 注意

- 必ず90度回してください。
90度回さないと固定されず、プラグが抜ける恐れがあります。
- プラグとソケットの色は、必ず合わせて挿入してください。
ソケットの色と違う色のプラグを挿入すると、プラグが抜けなくなったり、破損する恐れがあります。

■ 2. スパイラルチューブの巻き方

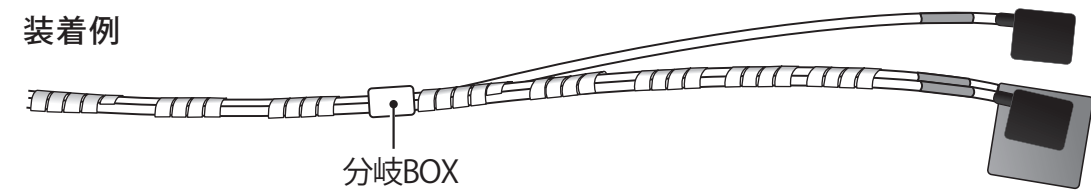
導子極板と対極板のケーブル同士を付属のスパイラルチューブで巻いて束ねてください。



対極板YD 4 mの場合

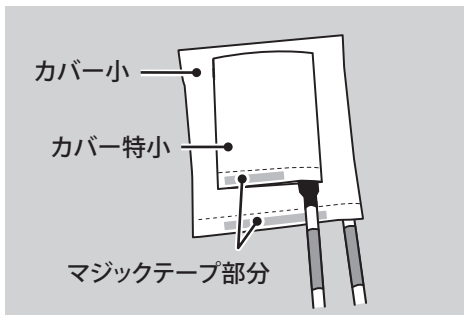
スパイラルチューブ16本(8本×2セット)

装着例



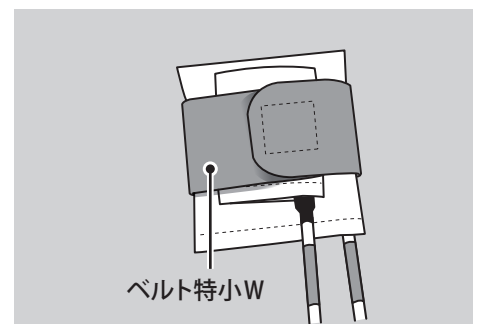
■ 3. カバー小・特小の取付け方

付属のカバー小を導子極板に、カバー特小を対極板に取り付けてください。
袋形状カバーの一边のマジックテープを開放して極板を挿入し、再びマジックテープを閉じます。



■ 4. ベルトの使い方

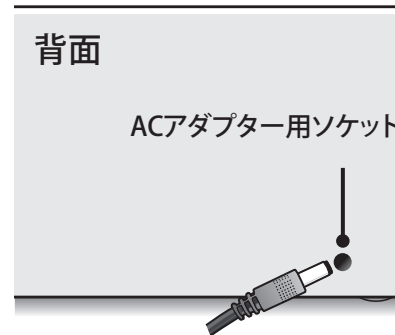
導子極板と対極板を身体に装着するための付属のベルトを用意してください。
長さの異なる大・中・特小Wのベルトがあり、身体に装着しやすいように伸縮性と固定のためのマジックテープが備わっています。



5. 電源コードおよびACアダプターの接続

ACアダプターのソケットに電源コードのコネクターを接続し、ACアダプターのプラグ部分を本体ACアダプター用ソケットに差し込んでください。

電源コード差込口は脱落防止のため、差込口が固めに作られています。

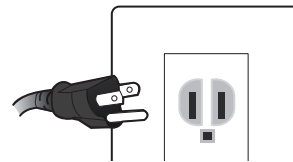


禁止 電源コード及びACアダプターに取付けているフェライトコアを外さないでください。外した場合、他の機器に悪影響を及ぼす恐れがあります。万が一、フェライトコアを外す等の誤使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

ご使用になるコンセントが

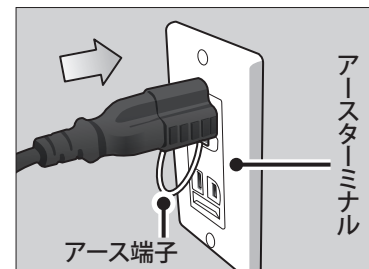
1) 3Pの場合

接地アダプターは不要です。



2) 2Pの場合

付属の接地アダプターを接続し、アース端子をアースターミナルに接続してください。



- ① 直射日光のあたらない強固で安定した平らな場所に本機を水平に置いてください。
- ② AC100Vコンセントと電源コードのプラグの接続はゆるみや外れが生じないようにしっかりと差し込んでください。

警告 電撃の危険を回避するために、この機器は保護接地を備えた電源だけを使用してください。

3Pコンセントの場合は接地アダプターは不要です。

2Pコンセントの場合
3Pプラグに付属の接地アダプターを接続し、アース端子をアースターミナルに接続してください。

※ アースターミナルがない場合は販売店にご相談ください。

6. 使用方法

標準的な使用例

期間	1回の使用時間	
初日～3日目	5～10分	一時的な身体のだるさを感じたときは、1回の使用時間を短くしてください
4日目～7日目	10～15分	
8日目～	15～60分	

1日の使用回数
1～5回
(目安)

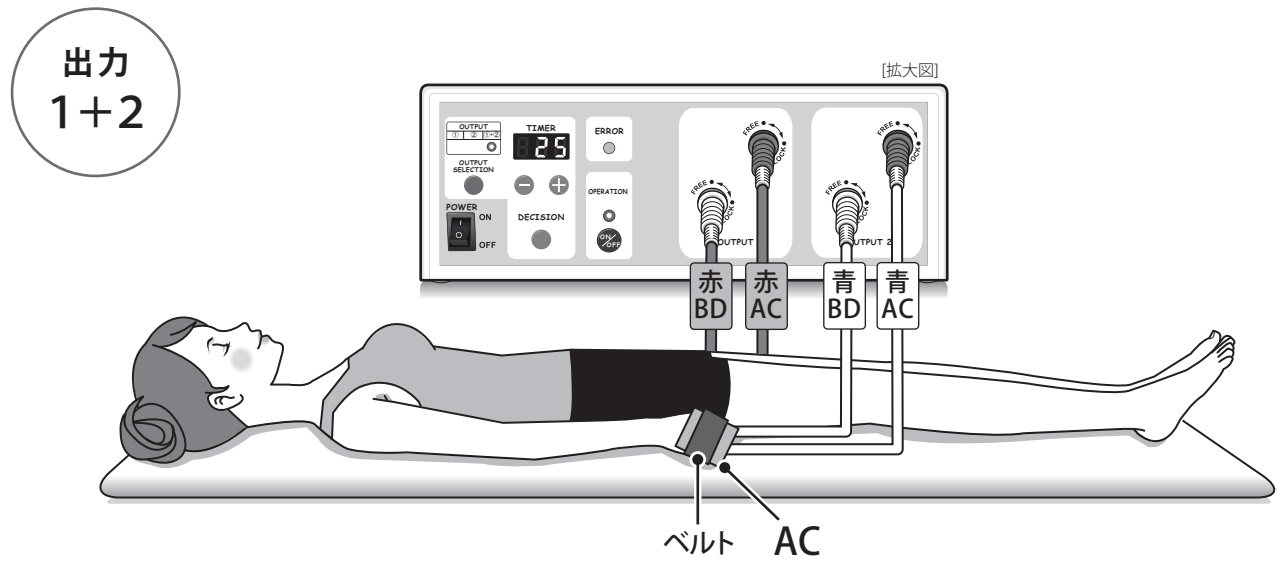
1回の使用時間
5～60分
(目安)

- ① 上記の表は標準的な使用の一例です。体調に合わせて1回の使用時間、1日の使用回数を適宜、調整してください。
- ② 使用后、次の使用までに1時間以上あけてください。
- ③ 初めて使用されるときは、短時間(5～10分)で使用し、回数を重ねながら少しずつ身体を慣らしてください。
- ④ 一時的な身体のだるさを感じたときは、1回の使用時間を短くしたり、1日の使用回数を減らしてしてください。
- ⑤ お子様や身体の弱い方など、年齢、体力、体重により、1回の使用時間は20分以内にするなど適宜、調整してください。
- ⑥ 身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止してください。
- ⑦ 途中で別の人に使用するときは、必ず、運転を停止してから行ってください。
- ⑧ 導子極板と対極板は、裏表を交互に使用することをお勧めします。
- ⑨ 1ヵ月以上使用しなかったときは、短時間(5～10分)で使用し、回数を重ねながら少しずつ身体を慣らしてください。

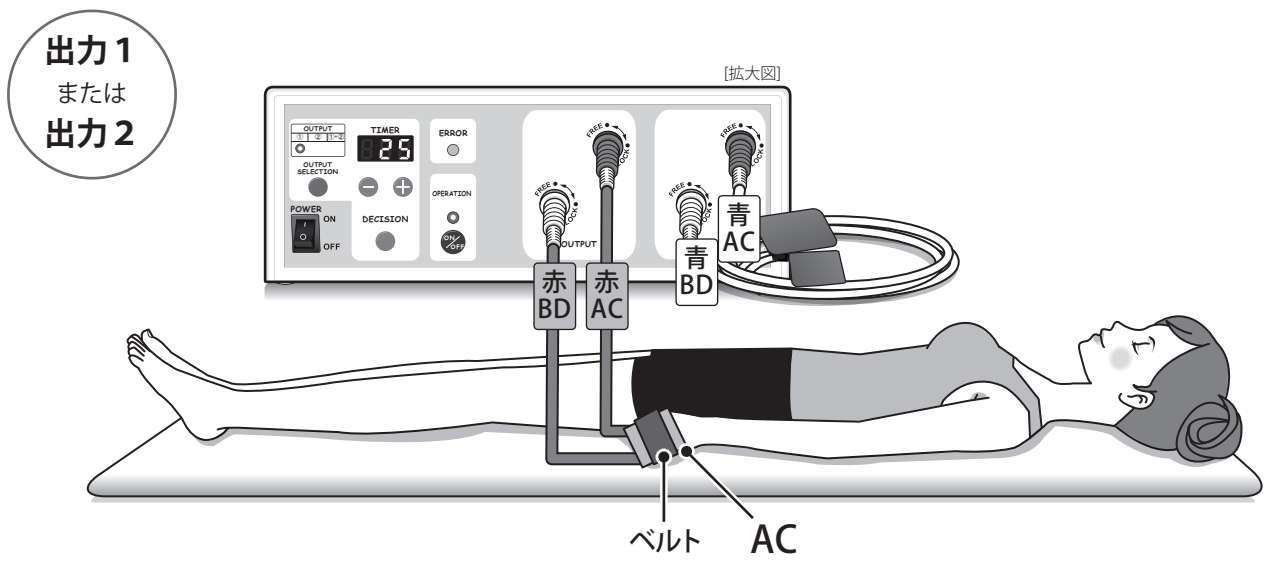
導子極板と対極板のあて方例 (BD仕様)

運転を開始する前に、必ず導子極板と対極板を付属のベルトで適切に装着してください。

1. 両手 手背に導子極板、手掌に対極板をあてた状態。



2. 片手 手背に導子極板、手掌に対極板をあてた状態。

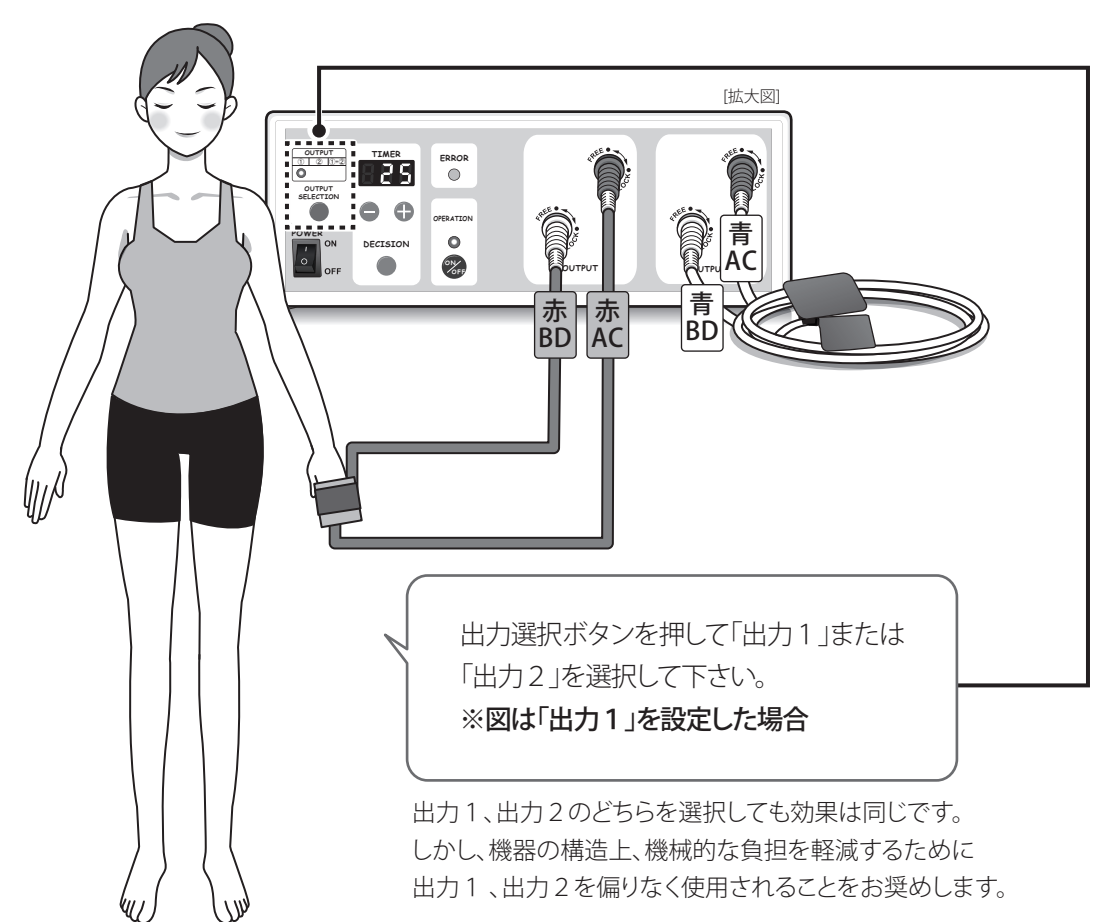
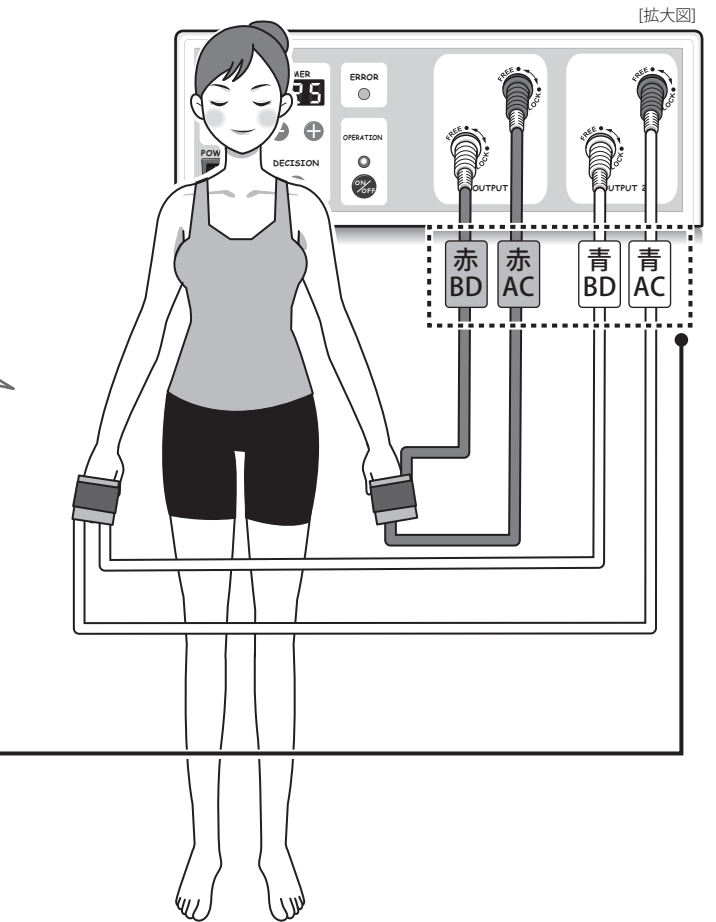


手の装着方法

- 導子極板と対極板がお互いに触れないようにあててください。

赤色、青色マークバンド

導子極板と対極板のマークバンドの色は出力1、出力2のどちらに赤、又は青を挿入しても構いませんが、導子極板と対極板のマークバンドの色は必ず揃えてください。



逆でもOK
手掌に導子極板、手背に対極板でも可。

- 仰向けになって使用してください。
- 使用後は1時間以上あげてください。

導子極板AC (青色マークバンド) → 青AC
導子極板AC (赤色マークバンド) → 赤AC
対極板BD (青色マークバンド) → 青BD
対極板BD (赤色マークバンド) → 赤BD

絵はイメージ図のため色、形状等異なります。

逆でもOK
手掌に導子極板、手背に対極板でも可。

- 仰向けになって使用してください。
- 使用後は1時間以上あげてください。

導子極板AC (青色マークバンド) → 青AC
導子極板AC (赤色マークバンド) → 赤AC
対極板BD (青色マークバンド) → 青BD
対極板BD (赤色マークバンド) → 赤BD

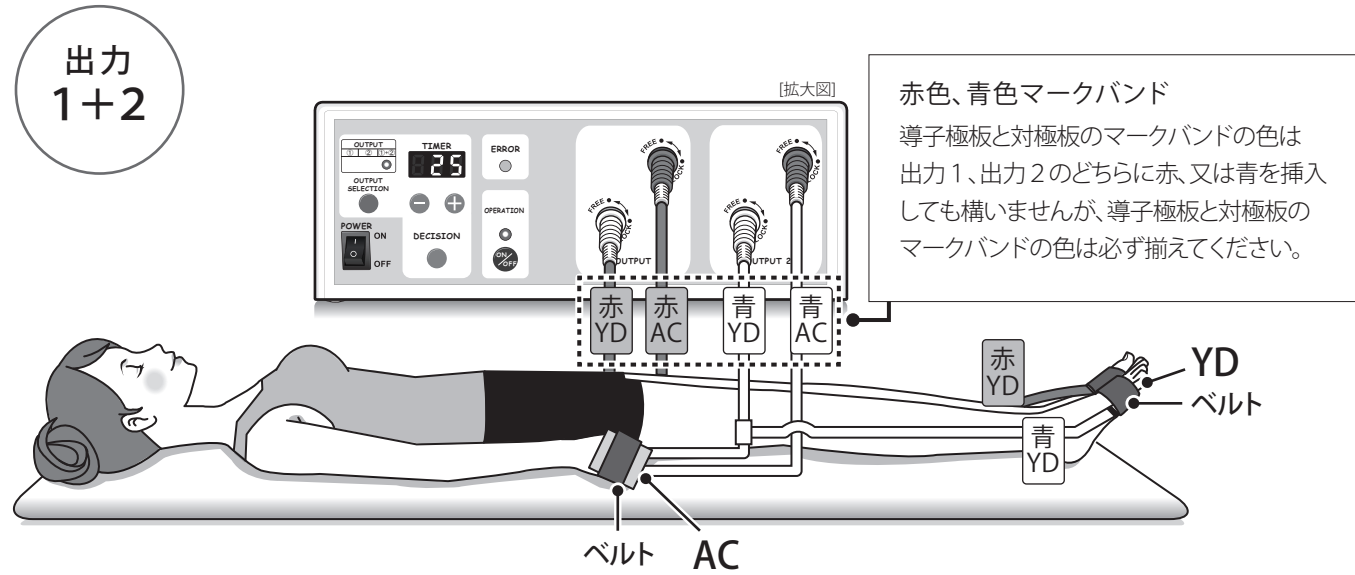
絵はイメージ図のため色、形状等異なります。

導子極板と対極板のあて方例 (YD仕様)

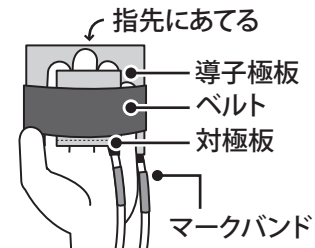
運転を開始する前に、必ず導子極板と対極板を付属のベルトで適切に装着してください。

1. 両手と両足

手背に導子極板、手掌に対極板、
両足の裏に対極板をあてた状態。



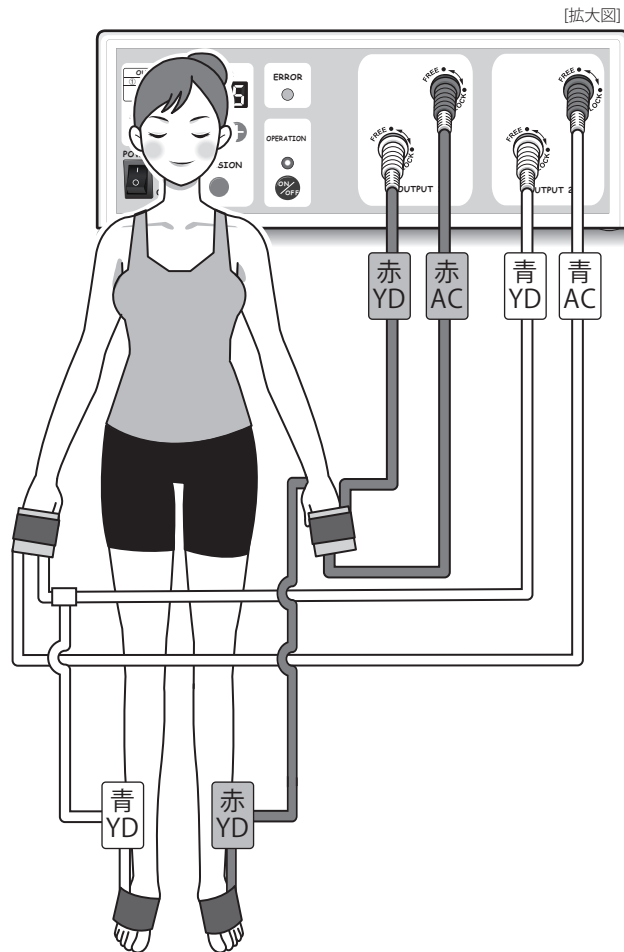
手の装着方法



- 導子極板と対極板がお互いに触れないようにあててください。

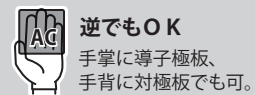
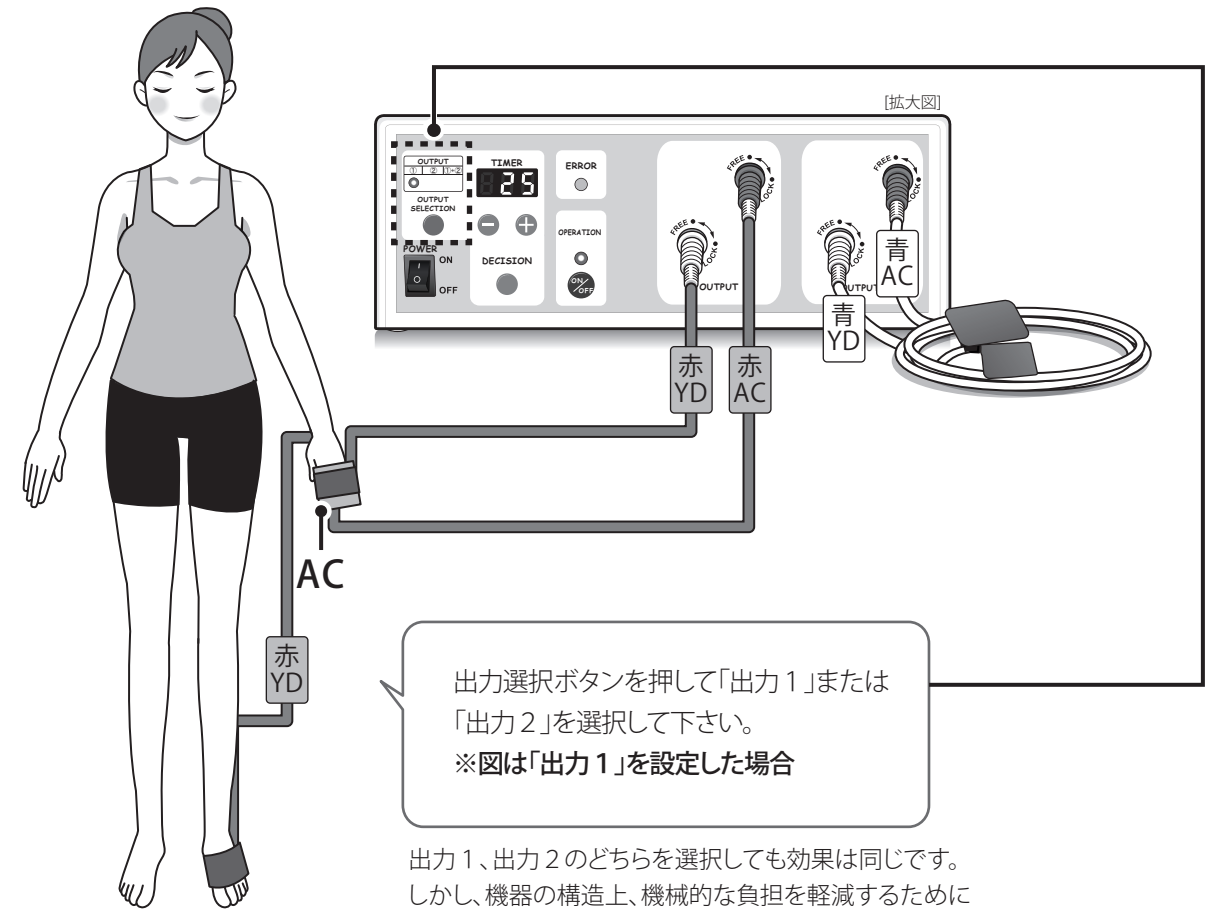
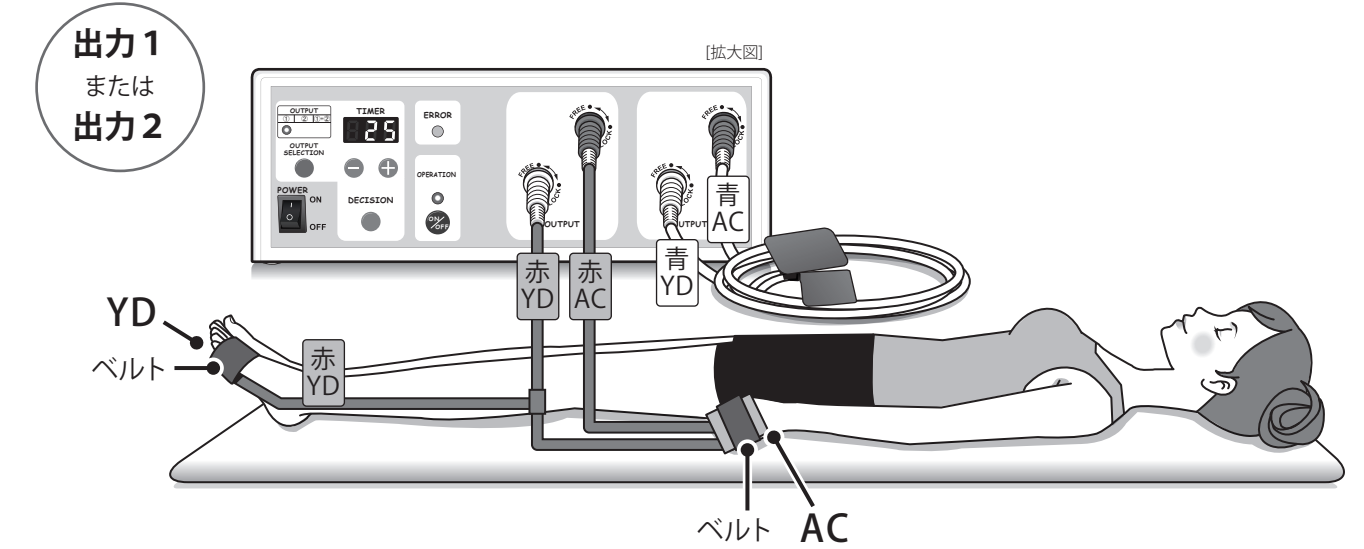
足の装着方法

足の裏、甲どちらにあててもかまいません。(フィットする方にあててください。)



2. 片手と片足

手背に導子極板、手掌に対極板、
片足の裏に対極板をあてた状態。



逆でもOK
手掌に導子極板、
手背に対極板でも可。

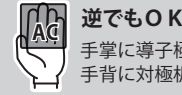
- 仰向けになって使用してください。
- 使用後は1時間以上あけてください。

足の裏、甲どちらでも可。
(フィットする方にあててください。)



導子極板AC (青色マークバンド) → 青AC
導子極板AC (赤色マークバンド) → 赤AC
対極板YD (青色マークバンド) → 青YD
対極板YD (赤色マークバンド) → 赤YD

絵はイメージ図のため色、形状等異なります。



逆でもOK
手掌に導子極板、
手背に対極板でも可。

- 仰向けになって使用してください。
- 使用後は1時間以上あけてください。

足の裏、甲どちらでも可。
(フィットする方にあててください。)

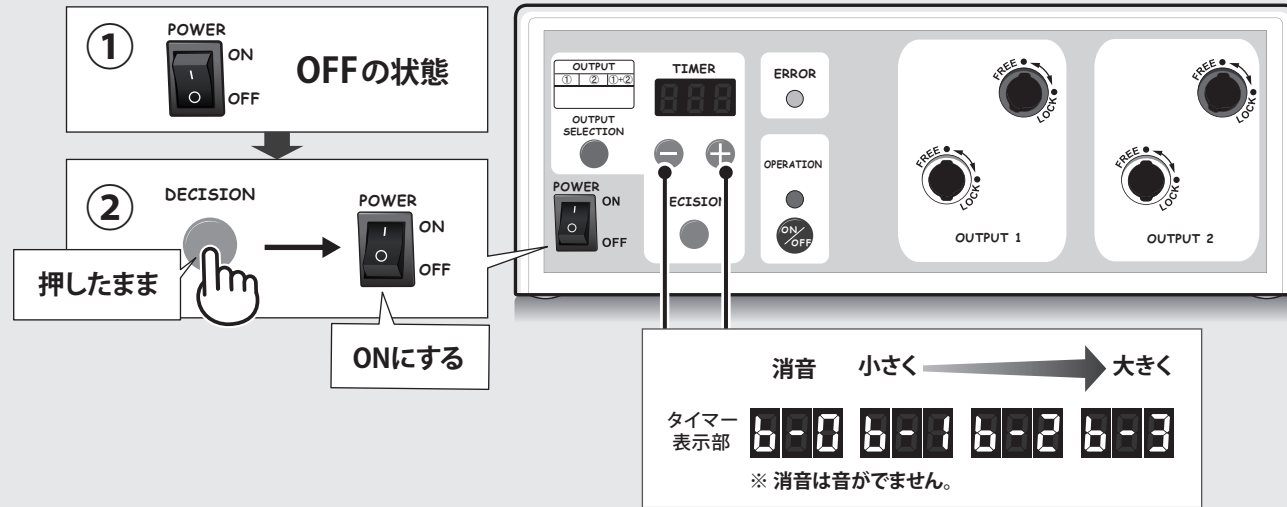


導子極板AC (青色マークバンド) → 青AC
導子極板AC (赤色マークバンド) → 赤AC
対極板YD (青色マークバンド) → 青YD
対極板YD (赤色マークバンド) → 赤YD

絵はイメージ図のため色、形状等異なります。

操作方法

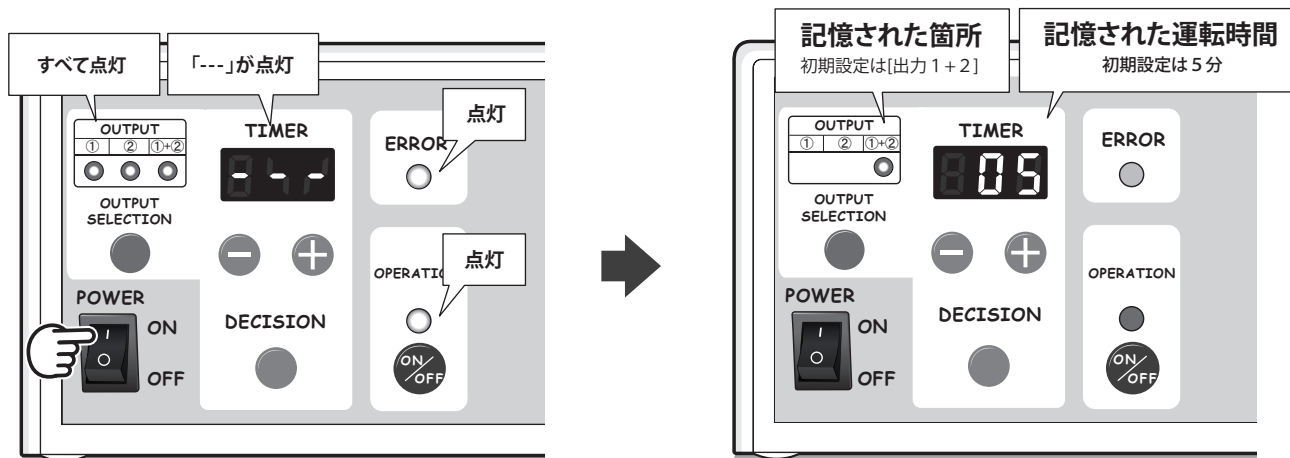
[最初の設定] 終了音量および操作音量を設定する



- ①電源をOFFの状態にして、②決定ボタンを押したまま主電源スイッチをONにします。タイマー表示部に設定された音量が表示されます。(初期設定値は「b-2」)
決定ボタンは、音量が表示されてから手を離してください。
(早く離すと音量が表示されない場合があります。)
 - +ボタンで音量を大きく、-ボタンで音量を小さくできます。
音量は4段階あります。
 - 決定ボタンを押して、設定した音量を記憶させます。
- 音量を「b-0」(消音)に設定していても、接続不良のエラー時には音が鳴ります。

1 電源を入れる

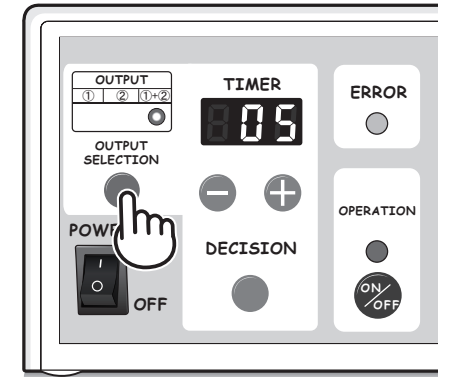
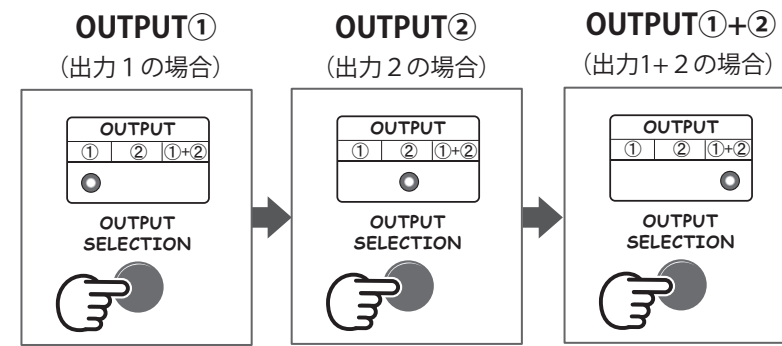
導子極板と対極板を接続し、本体前面にある主電源スイッチを押して「ON」にしてください。
すべてのLEDおよびタイマー表示部に「---」が点灯した後、記憶された運転時間が表示されます。



注意 電源の「ON」「OFF」を繰り返して速く行くと電圧が不安定な状態となるため、記憶されたデータが消えてしまう恐れがありますのでご注意ください。

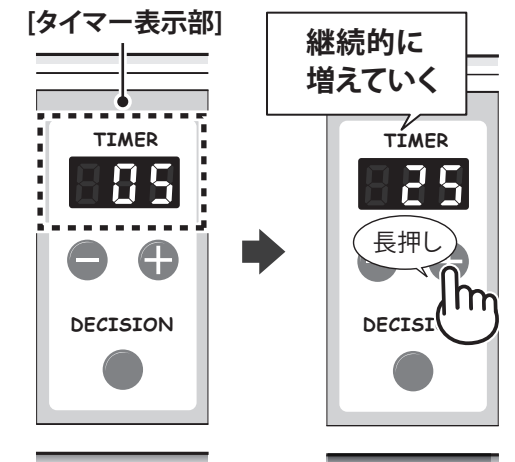
2 出力箇所を選択する

出力選択ボタンを押して、出力箇所を選択してください。
ボタンを押すごとに「OUTPUT ①」→「OUTPUT ②」→「OUTPUT ①+②」の順に切り替わります。
選択した出力箇所のLEDが点灯します。



3 運転時間設定をする

+ボタンで運転時間を設定します。
1~60分まで設定可能です。
0分は設定できません。
ボタンの長押しで数字の増減が継続的にできます。
タイマー表示部に運転時間が表示されます。



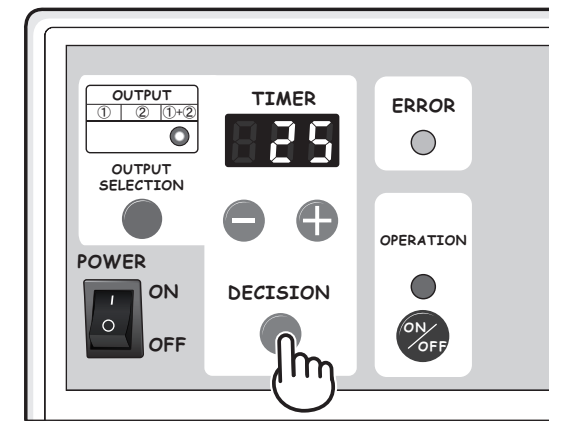
4 設定内容を記憶させる

決定ボタンを押すと、表示されている出力箇所と運転時間を記憶させることができます。

注意

決定ボタンを押さずに運転を開始することもできますが、設定した出力箇所及び運転時間は次回運転時に記憶されません。

[例:25分設定の場合]

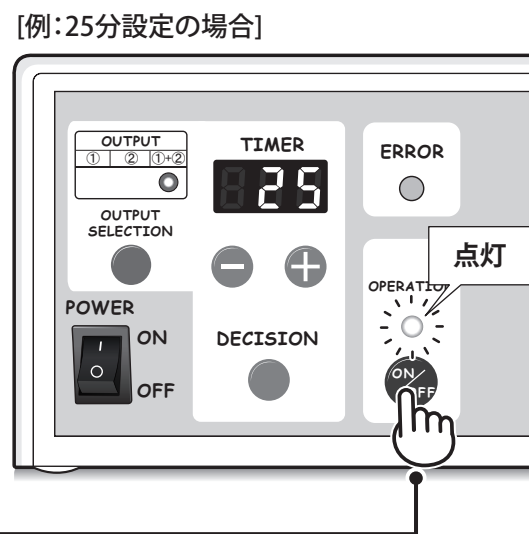
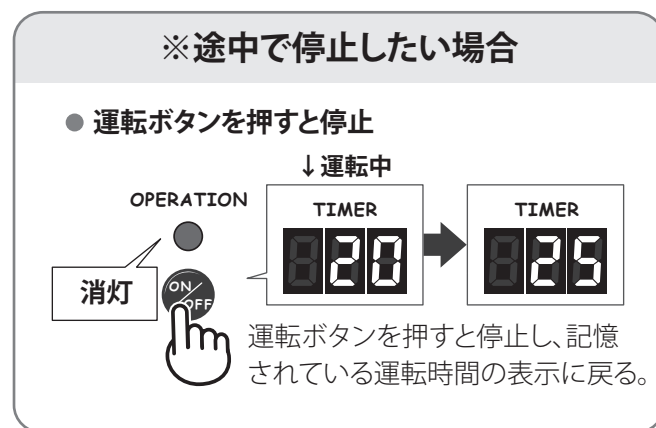


■ 操作方法(つづき)

5 運転を開始する

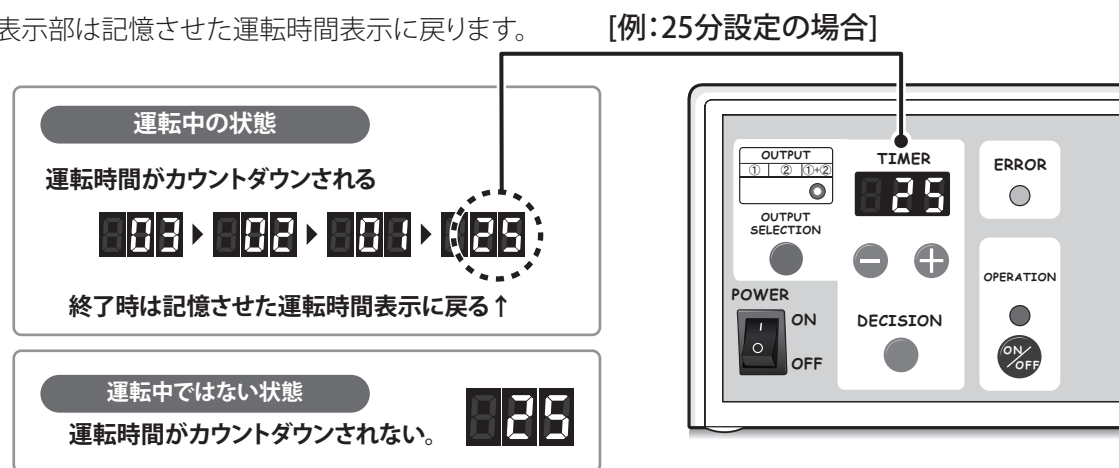
運転ボタンを押すとボタン上部のLEDが点灯し、運転が開始されます。
タイマー表示部に表示された運転時間がカウントダウンされます。運転中に運転ボタンを押すと停止されます。

※ 記憶させた出力箇所、運転時間、音量
で使用する場合は、次回使用时より運転ボタン
を押すだけで開始されます。



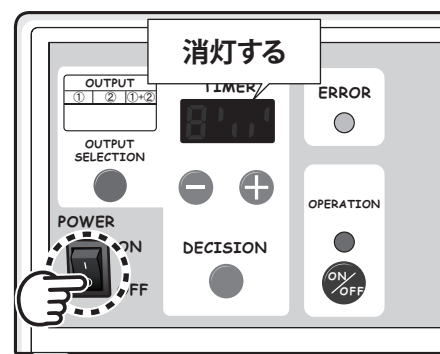
6 運転終了

運転が終了すると終了音が鳴り、運転を停止します。
タイマー表示部は記憶させた運転時間表示に戻ります。



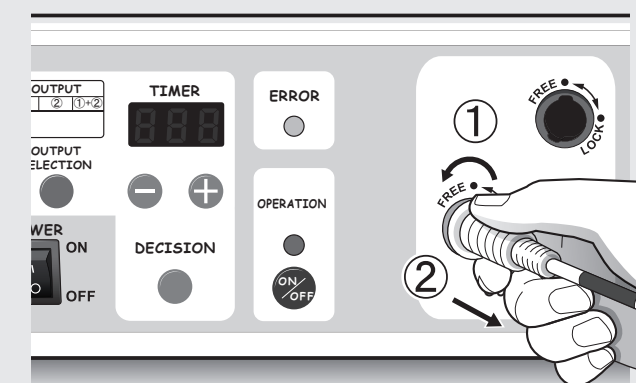
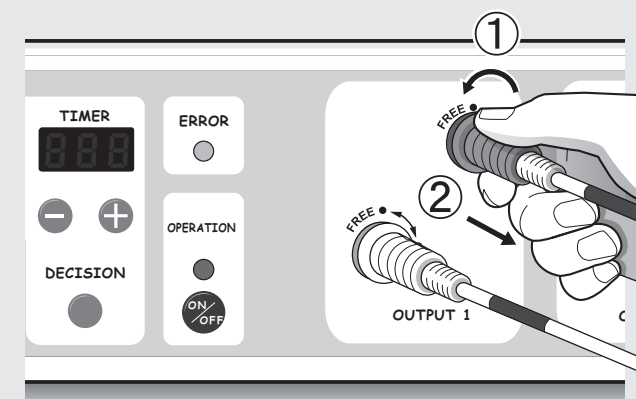
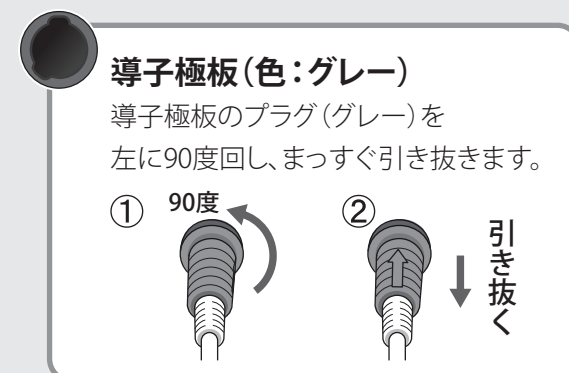
7 電源を切る

使用後は、本体前面の主電源スイッチを「OFF」にしてください。



導子極板、対極板を取り外す場合

機器本体が動かないように本体を押さえながら行ってください。

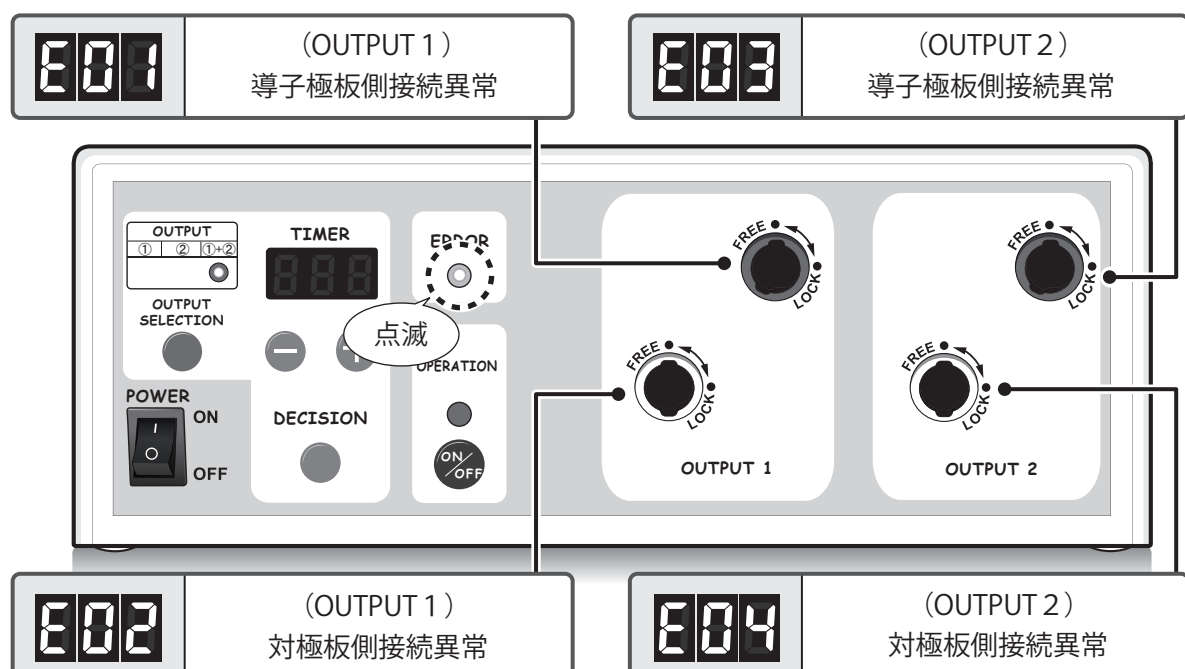


■ 操作方法(つづき)

本体のトラブル表示

導子極板または対極板のプラグが正しく接続されていないまま運転を開始したり運転中にプラグが外れると、運転が停止しエラー音が断続的に鳴って接続不良のピンク色のLEDが点滅します。

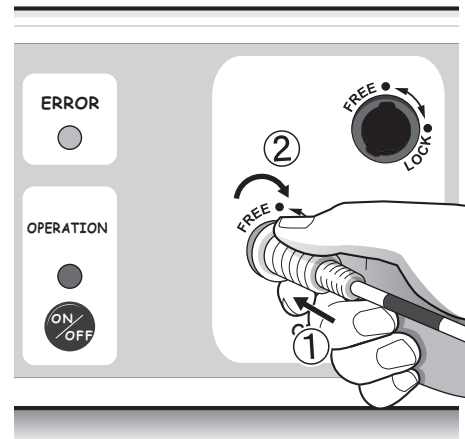
タイマー表示部に、エラーコードが表示されます。



導子極板と対極板を確実に差し込んでください。

例) 出力1の場合

エラーコードにより差込不良箇所を確認し、確実に差し込んでください。
 複数箇所に差込不良がある場合は、エラーコードが表示された箇所のエラーを解除すると他の差込不良箇所のエラーコードが表示されます。
 エラーがなくなりますと接続不良ランプが消灯し、エラーが解除されます。
 運転中のエラーの場合は、再度運転ボタンを押すと、運転を停止した時間から再開されます。



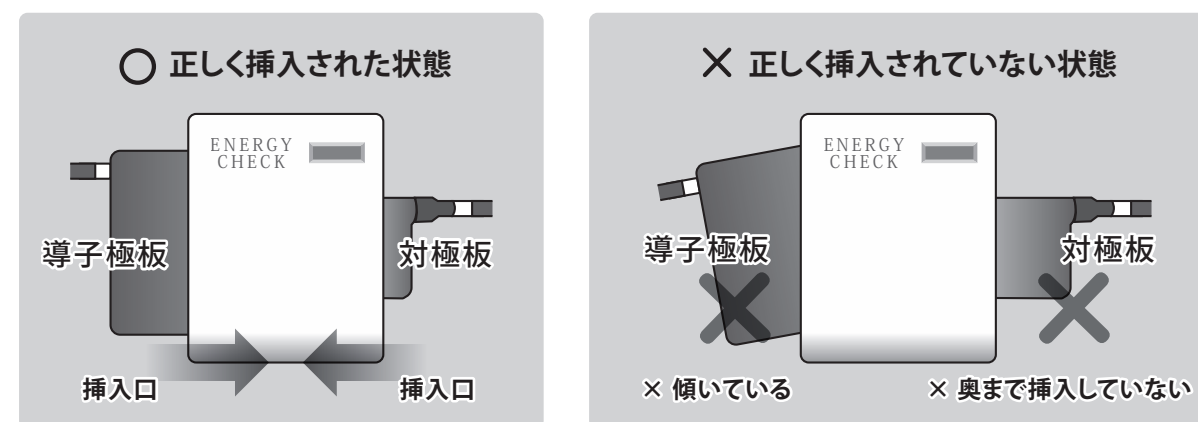
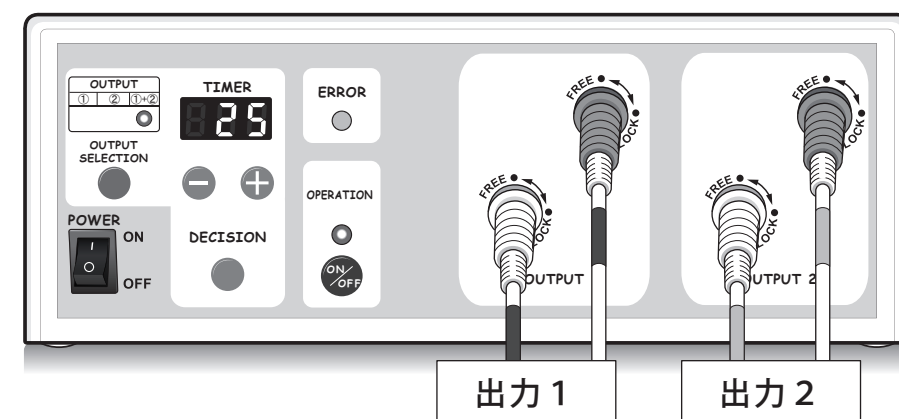
1. 用途

エネルギーチェックは、HD21の使用前の点検に用いる検査機器です。

(エネルギーチェックは、本体からの出力有無や導子極板と対極板のケーブルの導通有無を確認するものです。導子極板および対極板の消耗・劣化状態を確認する為のものではありません。導子極板から聞こえる音の大きさは、環境等により異なりますので出力の判断基準にはなりません。)

2. エネルギーチェックの使用方法

1 エネルギーチェックを水平な場所に置き、カバーを外した導子極板、対極板を各挿入口の奥まで挿入します。必ず出力1、出力2のセットごとに点検してください。

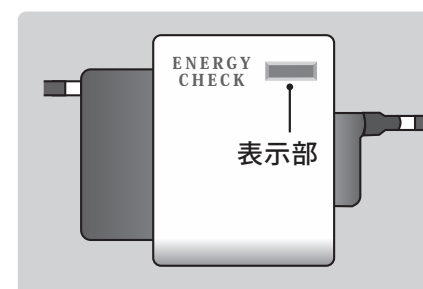


2 奥まで挿入した時、表示部が消えている事を確認します。

導子極板が帯電している時、運転状態前に表示部が点灯することがあります。

その場合、表示部が完全に消えてから点検してください。また何度も続けて点検した場合、OKが表示しなくなることがあります。

しばらく時間をおいて点検してください。

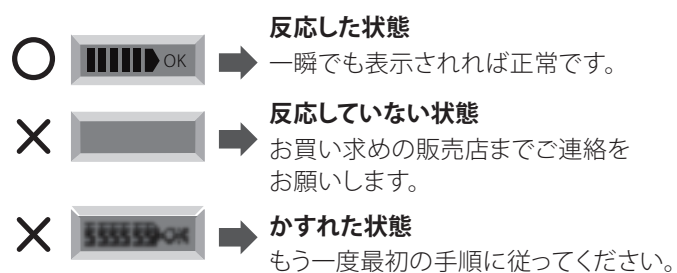


エネルギーチェック (ENERGY CHECK)

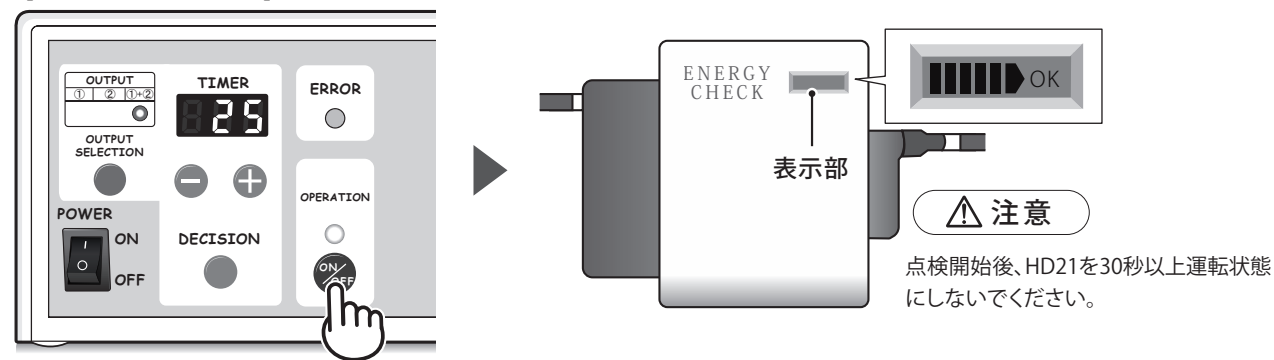
2. エネルギーチェックの使用方法 (つづき)

3 HD21を運転状態にします。 異常がなければ「OK」表示が点灯します。

点検中は導子極板、対極板の装着部に触れないようにしてください。

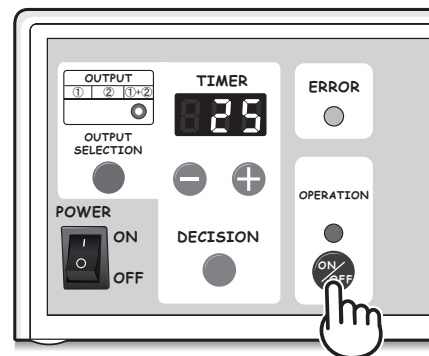


[例: 25分設定の場合]

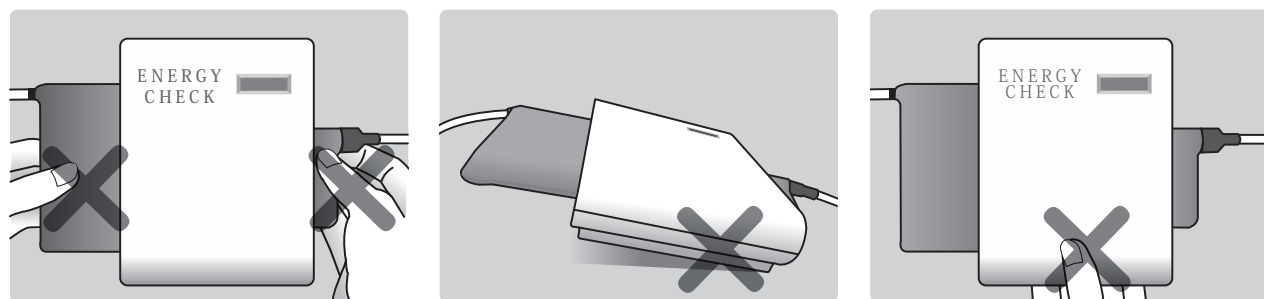


4 運転 (ON/OFF) ボタンを押してHD21の運転を停止し、導子極板と対極板を挿入口より抜き取ります。

エネルギーチェックの表示部に「OK」表示が点灯されない場合は、HD21のご使用を中断し、お買い求めの販売代理店までご連絡をお願いします。



3. 次の点にご注意ください



× 手で導子極板と対極板の装着部を触っている

× 不安定な設置をしている

- 注意**
- 幼児の手の届かない所に保存してください。
 - 風呂場など、水のかかる所に置かないでください。
 - 高い所から落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
 - 改造又は、分解しないでください。
 - 用途以外に使用しないでください。
 - 直射日光、高温または多湿の所に置かないでください。

※エネルギーチェックは保証対象外とさせていただきます。

トラブル対処方法

故障かなと思ったとき

状況	チェック	対策
電源スイッチを入れても電源が入らない。 タイマー表示部が点灯しない。	電源コード及びACアダプターは正しく接続されていますか？	ACアダプターのプラグを本体後面のACアダプター用ソケットに差し込んでください。 電源コードのコネクターをACアダプターのソケットに差し込んでください。 電源コードのプラグをコンセント (交流100V) に差し込んでください。
エラー表示がでる。	導子極板または対極板のプラグがソケットに正しく接続されていますか？	導子極板と対極板のプラグをそれぞれの極板用ソケットに差し込んでください。(P8)
ボタンを押しても、操作音が鳴らない。	音量の設定が「b-0」になっていませんか？	音量の設定を「b-1」～「b-3」で設定してください。(P16)
運転終了後、終了音が鳴らない。	音量の設定が「b-0」になっていませんか？	音量の設定を「b-1」～「b-3」で設定してください。(P16)
エネルギーチェックで点検時、「OK」が表示されない。	導子極板と対極板の装着部を手で触れていませんか？	導子極板と対極板をエネルギーチェックに挿入後、手を装着部から離して点検してください。
	表示時間が短いため、見逃していませんか？	もう一度、点検してください。 一瞬でも表示されれば正常です。
	運転状態になっていますか？	運転状態になっていない場合、運転ボタンを押してください。
	水平な場所で導子極板と対極板がエネルギーチェックの挿入口にきちんと入っていますか？	水平な場所で導子極板と対極板を挿入口に適切に入れて、再度点検してください。
	何度も続けて点検していませんか？	しばらく時間をおいて再点検してください。

※対策実施後、状況が改善されなければ本体の故障です。販売店に修理を依頼してください。

その他の質問事項

状況	回答
導子極板からの音が小さい。	導子極板から聞こえる音については、極板内の隙間を通る放電音ですので、環境、極板の消耗等さまざまな要因によって大きさは違ってきます。 尚、聞こえる音の大きさは、環境等により異なりますので出力の判断基準にはなりません。
エネルギーチェックの表示時間が短い。	エネルギーチェックの表示は帯電させることで表示させておりますが、音と同様にさまざまな要因によって表示時間が異なる場合があります。 またエネルギーチェックの表示部は、長時間帯電させると壊れることがあり、強制的に放電させるようにしておりますので、チェックしている間表示し続けるものではありません。 従いまして、導子極板から聞こえる音の大きさ及びエネルギーチェックの表示時間の長さが判断基準ではなく、エネルギーチェックに反応しているかどうかが出力の有無の判断基準となります。

仕様

※掲載した製品の仕様や外観は改良等の理由により、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

販売名	HD 21	付属品	YD仕様	BD仕様
型式	HD 21	導子極板AC (2.5m/4m)	2本	2本
外形寸法	300(W)×110(H)×280(D)(mm)	対極板YD (2.5m/4m)	2本	—
定格電圧	100-240V～(日本国内での使用の場合、AC100Vに限定)	対極板BD (2.5m/4m)	—	2本
定格周波数	50-60 Hz	カバー小	4枚	4枚
定格消費電力	2 W	カバー特小	8枚	4枚
重量	約2.2kg (本体)	ベルト特小W (長さ30cm)	4本	2本
運転時間	任意設定 (1分～60分)	ベルト中 (長さ80cm)	1本	1本
出力電圧	DC-5000V±1000V	ベルト大 (長さ120cm)	1本	1本
出力数	3パターン (出力1、出力2、出力1+2)	ACアダプター (1.25m)	1本	1本
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ・プラグが抜けた時、運転の自動停止 ・プラグが正常に挿入されていない時、運転しない ・過電流保護 出力部に保護抵抗を直列接続して電流の流れを制限 	電源コード (2m)	1本	1本
		接地アダプター	1個	1個
作動モード	連続運転	取扱説明書	1部	1部
		エナジーチェック	1個	1個
		スパイラルチューブ (2.5m/4m)	10本/16本	10本/16本

その他

保管方法

- 本体および付属品は、次の使用に支障がないように清潔にし、また、付属のカバー等は洗濯をし、湿気の少ない場所に整理して保管してください。

⚠ 保管時の注意

- ❗ 長期間使用されず、再び使用するときは、お買い求めの販売店にご連絡の上、点検を受けてください。埃、虫等が入らないようにしてください。

コンセントと電源コードプラグ間の埃を取りのぞいてください。

- ⊘ 以下の場所では保管しないでください。

- 火気及び熱源の近く
- 不安定な場所
- 直射日光のあたる場所
- 小児の手が届くところ

廃棄または譲渡等について

- 本機器の廃棄または譲渡等を希望される場合は、安全上及び法律により、お買い求めの販売店にご連絡ください。

その他

消耗品の交換 (保証対象外) について

- 導子極板および対極板は消耗品です。
- 性能を十分に維持するために、導子極板は1年毎の交換をおすすめします。
- 断線・破損した対極板を使用すると、感電や電撃を受ける恐れがありますので、対極板は1～2年毎の点検をおすすめします。
- 電源コード、ACアダプター、導子極板や対極板に損傷などが生じているときは、そのまま使用すると危険です。新しいものに交換してください。
- 導子極板と対極板は長年使用するとケーブルの断線などで火傷や感電、火災などの事故のおそれがあります。

清掃・点検リスト

製品を正常かつ安全に使用し、維持するために下記の点検をしてください。異状がみられる場合は、ご使用を中止し、必ず電源コードのプラグを抜いてから、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

	項目	内容	備考
1回/月	本体清掃	外装にヒビ、割れ等がないこと	左記症状がある場合は、販売店にご連絡ください。
	電源コード ACアダプター	電源コード、ACアダプターに裂傷、断線がないこと	左記症状がある場合は、販売店にご連絡ください。
		コンセントと電源コードプラグ間にほこりがないこと	電源コードのプラグを抜いてからほこりを取り除いてください。
1回/週	導子極板 対極板	濡れや湿りがなく、乾燥していること	使用後はベルトを外し、導子極板と対極板を離れた状態で自然乾燥させてください。
		ケーブルや装着部に破損、裂傷、断線、変形がないこと 運転中、装着部からビリビリとした電氣的刺激がないこと	左記症状がある場合は、販売店にご連絡ください。
毎日	カバー、ベルト	清潔に保たれていること	汗等の成分が付着しますので、こまめに洗濯してください。
	エナジーチェックによる点検	📖 21～22ページ参照	エナジーチェック表示部に「OK」が表示されない場合は、お買い求めの販売店へご連絡をお願いします。

⚠ お手入れ時の注意

- ❗ ベンジンやシンナーなどを使用せず、柔らかい布等で乾拭きしてください。感電のおそれがありますので、お手入れの時は電源コードをコンセントから抜いてください。
- ⊘ コード類を取り外すときは、コードを持って引き抜くなど接続部に無理な力を加えないでください。濡れたり湿ったりしている導子極板や対極板は、ドライヤーやストーブなどの高温で乾燥させないでください。

